



受賞者の
喜びの声を
紹介するよ!



県内の小学生を対象とした、プログラミングのアイデアや完成度を競う大会、「さがプログラミングアワード 2025」(佐賀新聞社主催、公共デザインイニシアティブ共催、学映システム特別協賛)が昨年12月13日、佐賀市のメートプラザ佐賀で開かれました。一次審査を通過した15組16人のファイナリストが、「未来」をテーマとしたプログラミング作品をプレゼンテーション。高学年と低学年、それぞれの部門で、大賞、準大賞、アイデア賞が選ばれたほか、印象的な発表を行った参加者一人に、プレゼン賞が贈られました。大会の様子と受賞者の声を紹介します。

特別協賛社ごあいさつ

株式会社 学映システム 代表取締役社長 岡村 祐臣

学映システムは、タブレットや電子黒板などの導入やサポートに携わる仕事をしており、第1回大会からお手伝いをしています。先日社内、「自分たちが小学生のときはプログラミングなんてできなかったよね」という話をしました。みなさんはすごいことをしているんです。自分が頑張った作品について発表をして、きょうを思い出となるいい一日にしてください。

来賓あいさつ

佐賀県教育委員会事務局 学校教育課 指導主幹 森戸 恭介

本選に進出されたみなさん、おめでとうございます。どれも素晴らしい作品だったと聞いています。そんな作品を作ることができたのは、みなさんが日頃から一生懸命頑張った成果だと思います。同時に指導してくれた先生方や家族のあたかい力添えもあったことでしょう。みなさんには、これからもプログラミング等の経験を通して、感性を豊かにしていただけたらと思います。

審査方法

一次は書類審査。本選は、作品についての3分間のプレゼンテーションと審査員からの質疑、アイデアの背景、制作過程、特徴・努力点、テーマとの合致、作品の完成度、プレゼンテーション資料の魅力、発表の上手さ、質疑応答での受け答えの計8項目を審査した。

審査員

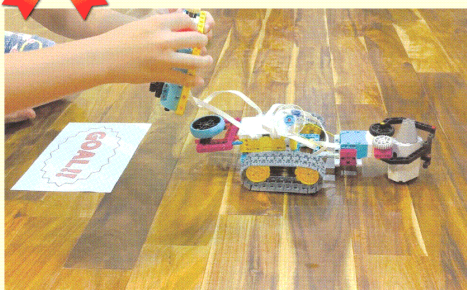
堀 良彰氏
(佐賀大学 総合情報基盤センター センター長)
仲山 知宏氏
(佐賀県教育委員会事務局 学校教育課 義務教育担当 指導主幹)
土井 慎一氏
(佐賀県高度情報化推進協議会 事務局長)
岡本 忠洋氏
(株式会社学映システム ICT 支援グループ 課長)
林 大介氏
(株式会社佐賀新聞社 総合編集局次長)

低学年

テーマ「みらいの“あったらいいな”」

大賞

(佐賀県教育長賞)



火災救助ロボット

父親が消防士で、火事のニュースを見て思っていた。人間だと消防士になる人も減っていき、限界があるし、そのためにつくった。昨年は準大賞だったので、一段一段レベルアップできていてうれしい。

じょうたき あさひ
上瀧 朝陽さん
久間小 3年

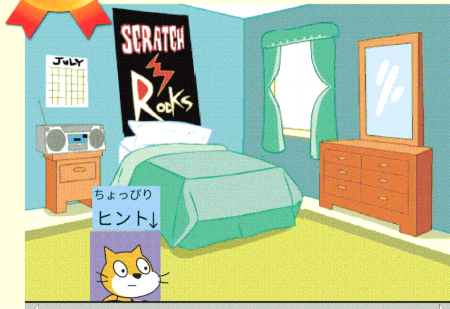


高学年

テーマ「わたしが作る、未来の世界」

大賞

(佐賀県教育長賞)



謎の部屋からの脱出

初参加で大賞を取れるとは思わず、びっくりした。脱出ゲームが好きで、自分もやっていて楽しいと思えるゲームになった。もっとアクションゲームを加えて、小さい子たちも楽しめるように改良したい。

よしだ いちたか
吉田 一貴さん
巨勢小 5年



吉田さんは、3月8日に東京で開催される「全国選抜小学生プログラミング大会」に、佐賀県代表として出場

準大賞
(学映システム賞)

安心安全、
みまもりネコちゃん!

学校帰りは怖い人やお化けなど心配ごとがいっぱいあって、助けてくれるロボットがいたらいいなと思った。大雨から守るために女の子を上へ引き上げる動きや、効果音を付けられたところがよくできた。



とくとみ ちさと
徳富 千里さん
神野小 2年

シューティングゲーム
アイデア賞 ～小城の町をきれいにしよう～

町を歩いていて、たくさんごみを見つけたことがきっかけ。初めてで難しかったけど、本で調べたりして完成することができた。シューティングゲームを楽しみながら、小城の町がきれいになっていけばうれしい。



さいとう けいいちろう
齋藤 恵一朗さん
晴田小 3年

プレゼン賞
ねこなでれーる発明!!!

大好きな猫をなでなでしたいと思って、アレルギーでも触れられるバリアスプレーを考えました。猫ちゃんが喜んで、一回転する場面は思い通りにできた。特に伝えたいところは、大きな声で伝えることができた。



みやざき あいり
宮崎 愛莉さん
鳥栖北小 5年

プログラミングアワード

主催 佐賀新聞社
特別協賛 学映システム

本選に出場したみなさん



準大賞
(学映システム賞)

わたしが作る、未来の世界
～しあわせがたくさんの世界～

表情を明るく意識して発表した。好きなイクラを食べられなくなったら…と考えたことや、絵のコンテストで入賞して、好きは「幸せ」につながるなど思ったことがきっかけ。幸せは身近にあることを伝えたい。



かなまる なつき
金丸 菜月さん
北波多小 5年

アイデア賞 日本を守れ! 蚊とり物語

危険な蚊を絶滅させるゲームをつくった。面白くなるように、いろんな選択肢や設定を試すことを繰り返し、自分がやっても面白いと思えるものができた。来年は大賞を目指して、東京に行きたい。



とくとみ いちろう
徳富 一路さん
神野小 4年

全体講評

佐賀大学 総合情報基盤センター センター長 堀 良彰

プログラミングは、特定の技術を持った人しかできなかった時代から、誰もが自分の必要に応じて作ることができる時代になりました。きょう出場したみなさんは、「未来」について考えたことを自身の言葉で表現しました。他の人の作品や発表を見て、刺激も受けたと思います。これからもいろいろな人の意見を聞きながら、プログラミングに取り組んでもらえればと思います。

大会の様子や作品を公開

大会特設サイトにて、本選出場者の作品や大会当日の様子を公開しています。

さがプログラミングアワード2025 検索



本大会は、「みんなの未来」をテーマに、一般社団法人 授業目的公衆送信著作権等管理協会(SARTAS)の共通目的基金の助成を受け実施されています。

大会に関する問い合わせ

さがプログラミング
アワード事務局
(佐賀新聞プランニング)
電話: 0952-28-2151
(平日9:30~17:30)
E-MAIL: sagapro@saga-s.co.jp

主催: 佐賀新聞社 共催: 特定非営利活動法人公共デザインイニシアティブ

特別協賛 学映システム

後援: 佐賀県、佐賀県教育委員会、20市町教育委員会、佐賀県高度情報化推進協議会、サガテレビ、ぶんぶんテレビ、NBCラジオ、エフエム佐賀など



こどもの夢をお手伝いします

学映システム

Gakuei System



■佐賀本店 佐賀市鍋島町大字森田902番地 TEL0952-34-5280/FAX0952-34-5285
■武雄支店 武雄市武雄町大字永島15877番地1 TEL0954-22-4124/FAX0954-22-4109
■唐津営業所 唐津市和多田用尺12番39号 TEL0955-70-2270/FAX0955-70-2277
■久留米営業所 久留米市東倉川8丁目8番21 TEL0942-41-4315/FAX0942-41-4317
■福岡営業所 福岡市博多区千代2丁目1番15 TEL092-260-7664/FAX092-260-7665
■沖縄営業所 沖縄県島尻郡那覇市東浜3-8 TEL098-917-2707/FAX098-917-2708